

# 令和 2 年度 決算書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 日本自動車教育振興財団

# 貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度 令和2年度	前年度 令和元年度	増減	備考
<b>I. 資産の部</b>				
1. 流動資産				
現金預金	24,883,656	10,899,323	13,984,333	
流動資産 合計	24,883,656	10,899,323	13,984,333	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
投資有価証券	959,384,900	958,900,000	484,900	
定期預金	2,640,000	2,640,000	0	
普通預金	975,100	1,460,000	△ 484,900	
基本財産 合計	963,000,000	963,000,000	0	
(2) 特定資産				
役員退職慰労引当資産	708,000	208,000	500,000	
特定資産 合計	708,000	208,000	500,000	
(3) その他固定資産				
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0	
什器・造作	412,921	825,841	△ 412,920	
電話加入権	152,880	152,880	0	
敷金	5,128,815	5,128,815	0	
その他固定資産 合計	15,694,616	16,107,536	△ 412,920	
固定資産 合計	979,402,616	979,315,536	87,080	
資産 合計	1,004,286,272	990,214,859	14,071,413	
<b>II. 負債の部</b>				
1. 流動負債				
預り金	4,757	8,197	△ 3,440	
流動負債 合計	4,757	8,197	△ 3,440	
2. 固定負債				
役員退職慰労引当金	708,000	208,000	500,000	
固定負債 合計	708,000	208,000	500,000	
負債合計	712,757	216,197	496,560	
<b>III. 正味財産の部</b>				
1. 一般正味財産				
(うち基本財産への充当額)	( 963,000,000 )	( 963,000,000 )	( 0 )	
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )	
正味財産 合計	1,003,573,515	989,998,662	13,574,853	
負債および正味財産 合計	1,004,286,272	990,214,859	14,071,413	

**正味財産増減計算書**  
(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度 令和2年度	前年度 令和元年度	増減	備考
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
○ 基本財産運用益				
・基本財産受取利息	24,270,709	21,760,278	2,510,431	
○ 受取会費				
・賛助会員受取会費	47,000,000	47,000,000	0	
○ 受取寄附金				
・受取寄附金	6,000,000	6,000,000	0	
○ 雑収益				
・受取利息	531	485	46	
・有価証券運用益	30,000	30,000	0	
経常収益 計	77,301,240	74,790,763	2,510,477	
(2) 経常費用				
○ 事業費				
1) 役員報酬	2,400,000	3,000,000	△ 600,000	
2) 給料手当	8,355,848	8,584,686	△ 228,838	
3) 役員退職慰労費用	100,000	83,200	16,800	
4) 福利厚生費	1,565,878	1,266,387	299,491	
5) 旅費交通費	179,047	4,441,388	△ 4,262,341	海外調査及び教材贈呈式の中止
6) 通信運搬費	1,447,713	1,640,558	△ 192,845	
7) 減価償却費	336,117	336,117	0	
8) 消耗什器備品費	508,188	414,896	93,292	
9) 消耗品費	359,152	684,939	△ 325,787	
10) 印刷製本費	0	905,758	△ 905,758	前年度は東京モーターショー 校外学習支援 ツール制作費用が発生
11) 賃借料	6,408,036	7,964,418	△ 1,556,382	JAEI研修会の一部中止、教材贈呈式の中止
12) 保険料	6,845	20,944	△ 14,099	
13) 諸謝金	1,100,053	2,600,032	△ 1,499,979	講師派遣実施件数の減少
14) 支払助成金	20,990,563	23,487,315	△ 2,496,752	自動車教育研究団体 全国大会開催中止による協賛金の減少 他
15) 支払寄附金	0	30,000	△ 30,000	
16) 委託費	10,585,095	9,021,263	1,563,832	動画学習サイト コンテンツ制作
17) 雑費	49,533	1,462,205	△ 1,412,672	教材贈呈式の中止、及び前年度は東京モーターショー校外学習支援関連費用が発生
事業費 計	54,392,068	65,944,106	△ 11,552,038	
○ 管理費				
1) 役員報酬	3,600,000	3,000,000	600,000	
2) 給料手当	1,276,752	1,371,402	△ 94,650	
3) 役員退職慰労費用	400,000	124,800	275,200	
4) 福利厚生費	357,805	289,371	68,434	
5) 旅費交通費	3,739	16,000	△ 12,261	
6) 通信運搬費	150,678	178,274	△ 27,596	
7) 減価償却費	76,803	76,803	0	
8) 消耗什器備品費	116,122	94,804	21,318	
9) 消耗品費	82,067	156,510	△ 74,443	
10) 賃借料	1,382,806	1,338,815	43,991	
11) 会議費	167,178	1,771,244	△ 1,604,066	評議員会後の懇親会中止 他
12) 印刷製本費	99,330	209,880	△ 110,550	
13) 諸謝金	582,610	579,773	2,837	
14) 支払負担金	271,000	271,000	0	
15) 支払寄附金	50,000	180,000	△ 130,000	
16) 委託費	258,500	0	258,500	
17) 雑費	411,779	738,814	△ 327,035	
18) 交際費	47,150	0	47,150	
管理費 計	9,334,319	10,397,490	△ 1,063,171	
経常費用 計	63,726,387	76,341,596	△ 12,615,209	
評価損益等調整前当期経常増減額	13,574,853	△ 1,550,833	15,125,686	
評価損益等	0	0	0	
当期経常増減額	13,574,853	△ 1,550,833	15,125,686	
2. 経常外増減の部				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	13,574,853	△ 1,550,833	15,125,686	
一般正味財産期首残高	989,998,662	991,549,495	△ 1,550,833	
一般正味財産期末残高	1,003,573,515	989,998,662	13,574,853	
II. 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III. 正味財産期末残高	1,003,573,515	989,998,662	13,574,853	

# 正味財産増減計算書 内訳表

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			法人会計	合計
	自動車教育事業	共通	小計		
<b>I. 一般正味財産増減の部</b>					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
○ 基本財産運用益					
・基本財産受取利息	16,989,496		16,989,496	7,281,213	24,270,709
○ 受取会費					
・賛助会員受取会費	42,300,000		42,300,000	4,700,000	47,000,000
○ 受取寄附金					
・受取寄附金	6,000,000		6,000,000	0	6,000,000
○ 雑収益					
・受取利息	531		531	0	531
・有価証券運用益	30,000		30,000	0	30,000
経常収益 計	65,320,027		65,320,027	11,981,213	77,301,240
(2) 経常費用					
○ 事業費					
1) 役員報酬	2,400,000		2,400,000		2,400,000
2) 給料手当	8,355,848		8,355,848		8,355,848
3) 役員退職慰労費用	100,000		100,000		100,000
4) 福利厚生費	1,565,878		1,565,878		1,565,878
5) 旅費交通費	179,047		179,047		179,047
6) 通信運搬費	1,447,713		1,447,713		1,447,713
7) 減価償却費	336,117		336,117		336,117
8) 消耗什器備品費	508,188		508,188		508,188
9) 消耗品費	359,152		359,152		359,152
10) 印刷製本費	0		0		0
11) 賃借料	6,408,036		6,408,036		6,408,036
12) 保険料	6,845		6,845		6,845
13) 諸謝金	1,100,053		1,100,053		1,100,053
14) 支払助成金	20,990,563		20,990,563		20,990,563
15) 支払寄附金	0		0		0
16) 委託費	10,585,095		10,585,095		10,585,095
17) 雑費	49,533		49,533		49,533
事業費 計	54,392,068		54,392,068		54,392,068
○ 管理費					
1) 役員報酬				3,600,000	3,600,000
2) 給料手当				1,276,752	1,276,752
3) 役員退職慰労費用				400,000	400,000
4) 福利厚生費				357,805	357,805
5) 旅費交通費				3,739	3,739
6) 通信運搬費				150,678	150,678
7) 減価償却費				76,803	76,803
8) 消耗什器備品費				116,122	116,122
9) 消耗品費				82,067	82,067
10) 賃借料				1,382,806	1,382,806
11) 会議費				167,178	167,178
12) 印刷製本費				99,330	99,330
13) 諸謝金				582,610	582,610
14) 支払負担金				271,000	271,000
15) 支払寄附金				50,000	50,000
16) 委託費				258,500	258,500
17) 雑費				411,779	411,779
18) 交際費				47,150	47,150
管理費 計				9,334,319	9,334,319
経常費用 計	54,392,068		54,392,068	9,334,319	63,726,387
評価損益等調整前当期経常増減額	10,927,959		10,927,959	2,646,894	13,574,853
評価損益等	0		0	0	0
当期経常増減額	10,927,959		10,927,959	2,646,894	13,574,853
2. 経常外増減の部					
当期経常外増減額	0		0	0	0
当期一般正味財産増減額	10,927,959		10,927,959	2,646,894	13,574,853
一般正味財産期首残高					989,998,662
一般正味財産期末残高					1,003,573,515
<b>II. 指定正味財産増減の部</b>					
当期指定正味財産増減額	0		0	0	0
指定正味財産期首残高					0
指定正味財産期末残高					0
<b>III. 正味財産期末残高</b>					1,003,573,515

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	208,000	500,000	0	0	708,000

以上

# 財 産 目 録

(令和3年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許保管	運転資金	78,585
普通預金	普通預金 みずほ銀行東京中央支店、他	運転資金	24,805,071
流動資産合計			24,883,656
(固定資産)			
基本財産 投資有価証券	第60回20年国債、他	公益目的保有財産であり、運用益の70%を公益目的事業、30%を管理目的の財源として使用している。	959,384,900
定期預金	みずほ銀行東京中央支店	公益目的保有財産であり、運用益の70%を公益目的事業、30%を管理目的の財源として使用している。	2,640,000
普通預金	三井住友銀行本店営業部	事業遂行のために必要な財産であり、運用益の70%を公益目的事業、30%を管理目的の財源として使用している。	975,100
特定資産 役員退職慰労引当資産	定期預金 みずほ銀行東京中央支店	役員(常勤理事)の退職慰労金支払いの財源として積み立てている	708,000
その他固定資産 投資有価証券	第98回近鉄グループホールディングス社債	運転資金	10,000,000
什器・造作	事務所内装(パーティション)	公益目的保有財産であり、公益目的事業および管理業務で使用している共用資産である。	1
	机・椅子等	公益目的保有財産であり、公益目的事業および管理業務で使用している共用資産である。	412,920
電話加入権	電話番号 03-5733-3841、他1回線	公益目的保有財産であり、公益目的事業および管理業務で使用している共用資産である。	152,880
敷金	住所 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館 事務所60平方メートル	公益目的保有財産であり、公益目的事業および管理業務で使用している共用資産である。	5,128,815
固定資産合計			979,402,616
資産合計			1,004,286,272
(流動負債)			
預り金	職員に係るもの	源泉所得税、雇用保険料	4,757
流動負債合計			4,757
(固定負債)			
役員退職慰労引当金	役員(常勤理事)に係るもの	役員(常勤理事)1名に対する退職慰労金支払いに備えたもの	708,000
固定負債合計			708,000
負債合計			712,757
正味財産			1,003,573,515

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

重要な会計方針は次のとおりである。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券は、取得原価法によっている。
- ・その他保有目的の債券は、決算日の市場価額等に基づく時価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ・該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産については、定額法による。但し、従来減価償却をしていなかった資産については、平成22年度より旧定額法により償却している。

(4) 引当金の計上基準

- ・役員退職慰労引当金  
役員(常勤理事)の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末支給額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

- ・リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理

- ・税込処理をしている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

・基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	958,900,000	484,900	0	959,384,900
定期預金	2,640,000	0	0	2,640,000
普通預金	1,460,000	0	484,900	975,100
小計	963,000,000	484,900	484,900	963,000,000
特定資産				
役員退職慰労引当資産	208,000	500,000	0	708,000
小計	208,000	500,000	0	708,000
合計	963,208,000	984,900	484,900	963,708,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

・基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	959,384,900	0	959,384,900	0
定期預金	2,640,000	0	2,640,000	0
普通預金	975,100	0	975,100	0
小計	963,000,000	0	963,000,000	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	708,000	0	0	708,000
小計	708,000	0	0	708,000
合計	963,708,000	0	963,000,000	708,000

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

・固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器・造作(事務所内装)	1,445,588	1,445,587	1
什器・造作(机・椅子等)	2,477,520	2,064,600	412,920
合計	3,923,108	3,510,187	412,921

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

・満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
第60回 20年国債	98,300,000	102,630,000	4,330,000
第119回 20年国債	97,950,000	116,006,300	18,056,300
第120回 20年国債	198,400,000	228,301,700	29,901,700
第121回 20年国債	49,250,000	58,609,100	9,359,100
第172回 20年国債	5,075,500	4,943,000	-132,500
ゴールドマンサックスGr.ユーロ円債	10,409,400	10,295,000	-114,400
米ドル連動型仕組預金	100,000,000	100,000,000	0
米ドル連動型仕組預金	100,000,000	100,000,000	0
米ドル連動型仕組預金	150,000,000	150,000,000	0
米ドル連動型仕組預金	150,000,000	150,000,000	0
合計	959,384,900	1,020,785,100	61,400,200

(注)時価は、証券会社発行の期末の残高証明書及び取引残高報告書の参考時価を記入した。

なお、米ドル連動型仕組預金は個別組成した商品で一般に流通する商品ではないため、時価欄は簿価と同額。

以上



# 監査報告書

令和3年4月28日

公益財団法人 日本自動車教育振興財団  
理事長 内山田 竹 志 殿

公益財団法人 日本自動車教育振興財団

監 事 山崎 幸雄 

監 事 矢野 義博 

私たち監事は、令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）における事業報告等、財務諸表等及び理事の職務執行状況の監査を行いましたので、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書、財産目録）について検討いたしました。

## 2. 監査意見

- (1) 事業報告等（事業報告及びその附属明細書）は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書、財産目録）は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上